

ただいま入学を許可されました中等部161名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。そして、保護者の皆様、お子様のご入学心よりお祝い申し上げます。本日はPTA会長稲葉真貴様、部活動後援会会長岩井一好様のご臨席を賜り、第76回入学式を挙げる事ができ、大変喜ばしく思っております。

近くの中学校ではなく、遠い本校を選んでくれた皆さん。心から歓迎いたします。皆さんにとって遠くても夢や希望に満ちた学校であるからこそ、本校への入学を決意してくれたのだと思います。皆さんはその遠い距離の分だけ苦勞も多いはずですが、しかし、3年後には人より多くの汗をかいた分、気力も、体力も、精神力も日本一の中学生になっていると私は信じています。

新入生の皆さん。皆さんが来校されたオープンキャンパスや学校説明会で私が言った言葉を覚えているでしょうか。「勉強の意味とは何か。それは、自分探しの旅に出るためである。自分とは何か、自分は何ができるのか、この社会の中のどの分野でどんな役割を担っていけば充実した人生を送ることができ、また、人々の平和のために貢献できるのか、そのことを探すために学ぶのだ。」と。こう申し上げました。「自分探しの旅に出る」ことこそが青春であり、中学生生活で

あると私は思うのです。

今、1000日の旅のスタートの合図が鳴りました。ゴールは当然
はるか遠くにあり、まだ見えるはずありません。皆さんのまなざし
の向こうには大きな夢や希望、あるいはあこがれと呼べるものが横
たわっているはずです。しかし、それらはまだ漠然としたもので、そ
の輪郭さえはっきりしていないかもしれません。

人は未知なるものには少なからず怖れを感じるものです。それゆ
え変化には勇気が必要となります。夢や希望に向かって突き進んだ
時、抵抗を感じることも多くあるでしょう。それは「自分が前に進ん
でいる」ということなのです。抵抗があったからといって、「これは
無理だ、できない」と言ってあきらめてしまうことは、ただ行動した
くない言い訳をしたに過ぎません。

抵抗があっても、それを上回る推進力があれば前に進むことがで
きます。その推進力こそが意志の力、本気度です。自分の目標に向か
ってやり抜く力が大事なのだと私は思います。

自分の良いところを見つけてください。たくさん潜んでいるであ
らう可能性を信じ発掘してください。皆さんは一人ひとり素晴らし
いものを持っているのです。

どうか「頭にも、心にも、体にも汗かく青春」を送り、1000日の旅が終わるときには、希望というものを手に握りしめ、新たなステージへと進んでほしいと願います。

さて、22世紀は77年後にやってきます。人生は100年時代を迎えています。皆さんは2101年の22世紀を生きるでしょう。そして同時に22世紀を作っていく次の世代を育てるという役割も担っています。想像もつかない未来社会が待っていると私は思うのです。

今から77年前は昭和22年1947年です。日本国憲法が施行された年です。日本は依然としてアメリカGHQの統治下であり、終戦後の混乱で世の中は不安定でした。食糧不足は深刻化しておりカロリー不足で栄養失調で苦しむ国民が多くいました。テレビなど電化製品はなく情報社会の基となっているコンピュータもまだまだ開発されたばかりで実用化の段階には程遠い状態でした。家庭にあった電化製品と言えばラジオ。それも一般家庭で普及率は50%を超える程度。もちろん各家庭に電話などはありません。

そんな 77 年前の暮らしぶりから現在を見ると生活様式の変化、科学や医学の進歩は隔世の感があり、驚くべきことなのです。一人ひとりが携帯電話を持つ時代になるなど誰が思い描いたのでしょうか。日進月歩と言われる科学の進歩、その進歩は加速されどんな未来が出現するのか想像すらできません。ロボットや A I の登場は私たちの生活を劇的に変えていくでしょう。

ぼんやりと輪郭を現わしている 22 世紀を見据えて皆さんは学び続けなければなりません。それは皆さんに課せられた責務です。しかし、どんな未来がやってこようとも、その未来社会は安心で安全であり、そして自由で平等で平和な社会でなければならないということです。この 3 つのことが成り立って、初めて幸福は訪れます。皆さんには自由で平等で平和な社会を作るという大きな責任があります。どうかその自覚をもって幸福な社会を作るためにはどうすればいいのかを学ぶ 3 年間であって欲しいと願います。ドラえもんが暮らしている 22 世紀は、争いのない思いやりで満ちた笑顔あふれる社会であると私は信じています。

満開の桜、碧く光る太平洋そして秀麗富士がみなさんの門出をお祝いしています。1000日のドラマは今、スタートしました。人生で一番短い3年間、青春って忙しい、夢中って無敵。約束された1000日の日々をかけがえのない青春の日々を悔いなく駆け抜けてほしい。私はそう願っています。

素晴らしい学校生活となることを、祈念いたしまして「告辞」といたします。入学おめでとう。